

JASPARの概要



*Japan
Automotive
Software
Platform
and
Architecture*

2016. 4. 12

一般社団法人*JASPARは2004年9月に、高度化・複雑化する車載電子制御システムのソフトウェアやネットワークの標準化および共通利用による、開発の効率化と高信頼性確保を目指し設立されました。自動車メーカー、電装品メーカー、半導体メーカー、ソフトウェア開発の各業種から技術者が参画し、海外・国内の関連団体との協調の下、車載LAN、ソフトウェア、マイコンおよび情報系領域における標準化を推進しています。

*関連の法令改定に伴い2009年4月1日付けで設立当初の「有限責任中間法人」から「一般社団法人」に移行しました。

◆ JASPAR設立発表会（2004.9.16開催）資料より

I.-01 背景①

高度化・複雑化する車載電子制御システム

高機能化
融合化
高度化

エンジン制御ECU
ブレーキ制御ECU
ボデー制御ECU
ステアリング制御ECU
周辺監視ECU

複雑化

(1) Japan Automotive Software Platform and Architecture

I.-03 目的

車載LAN要素技術、ミドルウェア、ソフトウェア基盤等の非競争領域を、日本メーカー各社で協調して開発することにより、技術開発コストの削減及び技術開発の促進を図る。

カーメーカ間の競争領域
（標準化で効率化）

アプリ
ソフトPF
ECU

高速・大容量多重通信 (FlexRay)

高速・大容量多重通信の採用

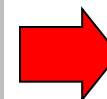
国内協働
世界協働

JASPAR
AUTOSAR
FlexRAYコンソーシアム

(3) Japan Automotive Software Platform and Architecture

■「将来のカーエレクトロニクス技術共通課題」を標準化で解き、普及を図る。

- 自動車の先進技術を支えるソフト・通信・技術開発
- 共通基盤の開発
- 世界標準への挑戦



- 国際貢献
- 標準化
- 開発効率向上

ミッション

- カーエレクトロニクス領域にて将来の共通課題を特定し、その解決のために標準化活動に取り組み、自動車産業全体の
 - ・ 公正な競争基盤の創造
 - ・ 開発の生産性向上と技術発展
 を促進する

ビジョン

活動テーマ

- JASPARは、これまでの活動成果の維持・発展に加え、新しい協調領域を手がける会員企業の迅速な意見集約・意思決定を通じて、
カーエレクトロニクス技術についての標準化活動を行う

目標とする地位

- JASPARは、会員の持つ確かな技術力を活かし、
日本発の新構想・新技術の発信と普及促進
を図ることにより、自動車産業を先導する団体を目指す

会員数：146社 及びグループ会員 25社、学会会員 7名 (2016年4月現在)

・会員区分別

幹事会員 5社

JASPAR全体の運営にあたる

トヨタ自動車、日産自動車、
本田技術研究所、デンソー、
豊通エレクトロニクス

正会員 74社

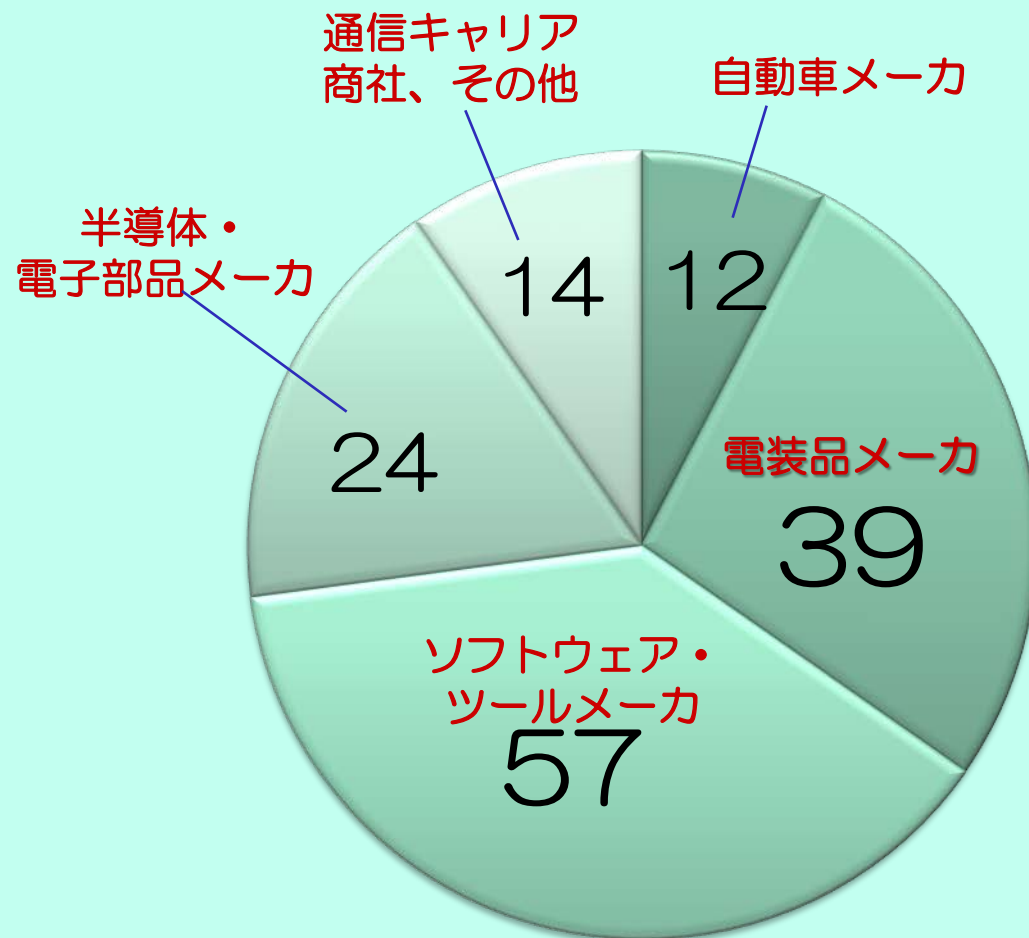
ワーキンググループへの参加

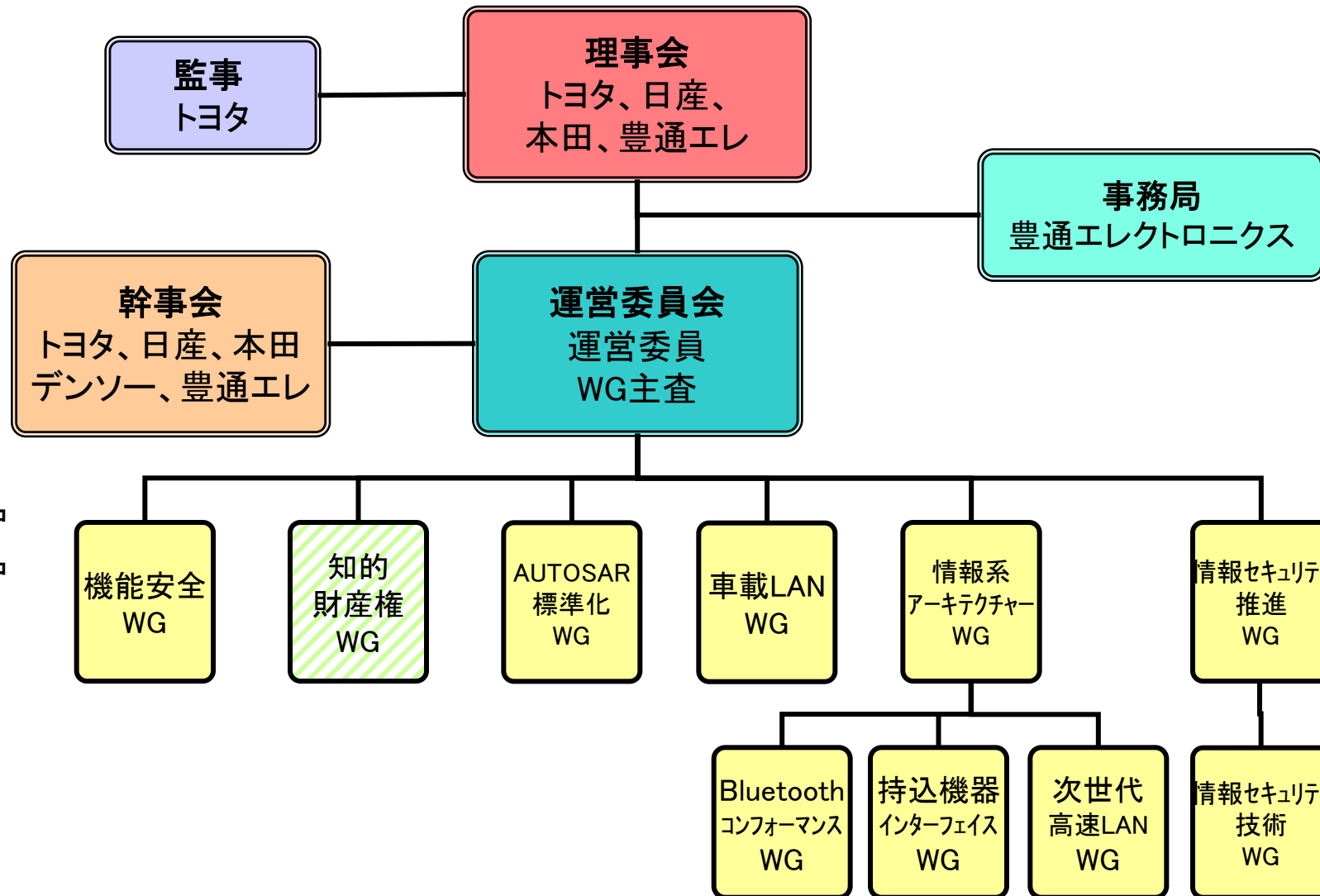
自動車メーカー：	4
電装品メーカー：	29
ソフト・ツールメーカー：	27
半導体・電子部品メーカー：	12
通信キャリア、その他：	2

準会員 67社

成果物の利用

・業種別





代表理事	トヨタ自動車株式会社	常務役員	奥地 弘章
常任理事	日産自動車株式会社	理事/VP	吉澤 隆
常任理事	株式会社本田技術研究所	執行役員 上席研究員	幅口 正幸
常任理事	豊田通商株式会社 兼 株式会社豊通エレクトロニクス	執行役員 代表取締役社長	青木 厚
監事	トヨタ自動車株式会社		橋本 雅人
運営委員長	株式会社本田技術研究所		橋本 寛
運営副委員長	トヨタ自動車株式会社		伊藤 良
運営副委員長	日産自動車株式会社		井野 淳介
事務局長	株式会社豊通エレクトロニクス	代表取締役	柿原 安博